

|         |        |       |               |
|---------|--------|-------|---------------|
| No. C01 | A グループ | 年 月 日 | 令和5年10月29日(日) |
|---------|--------|-------|---------------|

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略 A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

今の仕事には不満はないが、このままではいかと考えると将来がとても不安である。また、資格取得に挑戦しているが、取得後に現状が変わらない場合、焦りもある。正社員になって両親を喜ばせたいがどうしたらいいかわからない。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

相談者が焦りを感じる状況についてキャリアコンサルタント側の確認と本人の内省のため。また、相談者の言う「何もしないわけにはいかない」という発言に対し具体的に考えているプランがあるか確認する意図と考える。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 問題は特に次の3点と考える。(1)自身のキャリアプランについての理解不足。(2)自身の仕事における価値観やスキルについての自己理解不足。(3)職業や職種についての理解不足。

② その根拠 (1)「今後、母も倒れてはオラと、つい考えてしまい、不安になってしまった」という発言から。(2)「他の人よりも読める知識や経験もないし、やってみたいという仕事も特にな」という発言から。(3)「今更難いのは分かっているが、一度は正社員として就職(以下略)」や「今は未経験者とさほど変わらない」という発言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは相談者の抱える不安を引き続き傾聴し、信頼関係構築に努める。その上で設問3で挙げた問題について相談者と共に考える。(1)について、介護が必要になった場合の役割分担について「家族で相談が可能な問いかける。また利用可能な行政サービスの情報収集も促し、不安を軽減する。(2)について、相談者がこれまで仕事してきた内容や現在取り組んでいる資格も含め、ジョブカードの作成を通してスキルの相対化を行っていた。客観的にスキルについて確認する機会を設ける。(3)について、正社員という働き方や行政書士事務所でのご自身についての内省を促す。これから先のキャリアの不安を解消し、相談者の考えるキャリアを支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

|         |        |       |               |
|---------|--------|-------|---------------|
| No. C01 | B グループ | 年 月 日 | 令和5年10月29日(日) |
|---------|--------|-------|---------------|

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

行政書士の事務所でアルバイトとして勤務し、難しい資格にも挑戦しているが、就職永年勤続で現状を変えられるか不安に感じている。正社員を希望するが介護の可能性もあり、どうすべきか悩んで相談。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

相談者がこの先のことを考えると焦る思いを伝え、確認することによって内省を促し、なぜそう思うのか、思いの背景や状況を把握することと相談者の理解を深める意図があると思われる。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 主な問題は2点ある。(1) 資格取得が今の仕事にどう役に活かせるのか、仕事の理解不足。(2) 正社員としてどう役に働いていきたいのか、キャリアプランに対する自己理解不足。

② その根拠 根拠は、(1) 難しい資格に挑戦しているが、取得しても業務経験はこれから積み重ねていって行政で雇ってもらえるところがあるわけでもない、現状は変わらないと捉えていること。(2) 一度は正社員となり両親を養いたいと思いが、介護と両立したいと考えることと仕事を続けたいと考えること。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

就職永年勤続で、正社員として働きたいが年齢的にも難しいと悩む相談者の思いに寄り添い傾聴し、ラポール形成に努める。同意が得られれば、(1) 上司と面談の機会を設ける支援をし、資格取得がどう役に仕事に活かせるのか、活かせる点を確認し仕事理解不足を解消する。(2) 今後の経験を共に振り返り、正社員としてなぜ働きたいか、また培ったスキルや能力を活かして何を大切にしたいか、内省を促すことで自己理解を深め頂く。最終的には今後必要となる介護の両立も踏まえ、相談者がキャリアプランを明確にし意思決定を助ける支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

|         |       |       |               |
|---------|-------|-------|---------------|
| No. C01 | Cグループ | 年 月 日 | 令和5年10月29日(日) |
|---------|-------|-------|---------------|

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略 A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

3年前から行政書士事務所を引継いでいる。就職氷河期世代と卒業し、一度も正社員とは働いたことはない。将来の不安は、先日、父親が倒れた。母は配介護が必要のため、今は正社員と就職したいが、不安。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

Zさんの気持ちを受け止め、素直に話を聞いてあげること、Zさんの内容を深く、同時に、CがZさんを理解し、どんな問題があるか、と考え今後の面接の方針を立てる。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題① 焦りや不安が大きく、現状が整理できず、自己理解不足、自己効力感低下。  
② 社内での役割、期待の理解が不足、情報不足による思い込みがあると思われる。

② その根拠① Zさん発言「諦めてしまった」「長続きしなかった」「将来がとても不安である」  
② 「今のところ正社員にしてみようわけではないし」のZさん発言、①「この年で果たして雇ってもらえるところがあるとは思えない」「スタートラインにすらなっていない」等。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

父親の倒れ、今後の世帯の配り、父の将来への不安や焦りに寄り添い、いかに傾聴して信頼関係構築に努める。両親を喜ばせるため正社員と就職したい気持ちを汲み取り、①これまでのZさんの経験を対話を通じて振り返り整理して、自己理解を深め、自己効力感を高める。②社内の役割、会社を指導する。情報不足の解消をする。最終的にはZさんが自ら意思決定できるように継続的に支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

|         |        |       |               |
|---------|--------|-------|---------------|
| No. C01 | D グループ | 年 月 日 | 令和5年10月29日(日) |
|---------|--------|-------|---------------|

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

現在まで一度も正社員として働いたことはなく、今はアルバイトではあるが勤務の仕方は正社員と変わらない。思いがあるがまだ決めた仕事も特にない。今後の生活の不安から、何かしらの仕事に就きたいという思いがある。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

資格を取得しても現状は変わらないと焦っている点について、内省を促し、何もしないわけにはいかないという思いを明らかにし、転職活動についての価値観を探る意図がある。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 主な問題は2つある。(1) 職業選択 かつ時給と価値観の意味関係の軸がない自己理解の不足。

(2) 職業全般に対する情報の不足と仕事理解の不足が見られる。

② その根拠 上記の(1) 内容も答えながら、これから正社員になることを決めているのに、今のアルバイトで資格取得は必要なのか、の先のことを考え焦っている。「それなら仕事も決まらないうちに、行政書士資格を取るか、の先を思い、(2) 資格を取得しても正社員にはなれないと、今後の生活の不安から、何かしらの仕事に就きたいという思いがある。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

転職活動の準備がまだできていないが、資格取得を目指してアルバイトを続けていること、今後のことを考え不安に感じている点、今後の生活の不安から、何かしらの仕事に就きたいという思いがある。自身の価値観の意味関係の軸がない点、仕事理解の不足、行政書士資格取得後の正社員への転職も確認するように促す。また、行政書士資格取得後の正社員への転職も確認するように促す。また、行政書士資格取得後の正社員への転職も確認するように促す。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

|         |        |       |               |
|---------|--------|-------|---------------|
| No. C01 | E グループ | 年 月 日 | 令和5年10月29日(日) |
|---------|--------|-------|---------------|

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

北河期世代で就職活動に失敗して相談者が正社員として働いたことがない。今日行政書士事務所アルバイトとして働いているが、難しい試験に挑戦し資格を取得しようと考えている。しかし、両親のこれからの心配をどうしたらよいかわからない。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

正社員にならずに派遣・アルバイトで仕事を探しているが、どれも長続きしない。又、行政書士所でのアルバイトは何も不満はないといつもこのままでいいのかと悩んでいる。背景には何かあるのかと確認するため。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 (1) 1人での生活に慣れている不安について。(周囲・サポート不足) (2) 正社員にならずアルバイトしか経験がないことについて。(自己能力感の低さ) (3) 自分がやりたいことについて。(仕事理解不足)

② その根拠 (1) 「父の例として介護が必要になりたくない」「母に介護と...。母は介護してたら不安。」(2) 「人の面倒をみてやる」「派遣・アルバイトの仕事はどれも長続きしない」「書類選考が難しい」と多く正社員になることを勧められた。(3) 「他の人よりも遅れ遅れ知識や経験もない」「やりたい仕事にない」

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まず、相談者が北河期世代で就職活動にめげずに長年就労してきたことを褒める。そして、相談者が難しい資格取得に挑戦することや覚悟する上記の(1)について、両親の介護の不安を1人で抱えきれない地域は福祉センターや自治体に相談するのを提案。(2)は、就労で試験に挑戦し、強みを整理すると共に働いた自身の成功体験などと思い返す。(3)は、(2)で整理した自分の興味・関心をも職業興味調査やジョブカードを活用した一環として提案する。相談者は、将来の不安を強く感じるので丁寧に気持ちに寄り添って傾聴をし、支援を進めていく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

|         |        |       |               |
|---------|--------|-------|---------------|
| No. C01 | F グループ | 年 月 日 | 令和5年10月29日(日) |
|---------|--------|-------|---------------|

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略 A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

就職氷河期世代で就活に失敗し、正社員経験がなく、現在母の紹介でアルバイト勤務。資格取得に挑戦中だが、父が怪我で今後の介護や正社員としての転職となると、どうしたら良いか不安と焦りが来談の

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

相談者の焦る気持ちを安らげ伝えることで「信頼関係を築きつつ内省を促している時に「何もしないわけにはいかない」という発言をどう捉えているのか議論の背景にある相談者の思い、価値観を理解するため。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 主な問題は3点と考える。(1)経験・スキル強化に自信がなく不安を感じ自己理解不足。(2)正社員としての就職・資格取得に関する理解不足。(3)介護と仕事の両立に関する情報収集不足。

② その根拠 上記の(1)「将来がどうなるか」「他の人より劣る知識や経験もない」の発言より自己肯定感が下がっている点。(2)「資格を取得しても現状は変わらない」「この年で選んでもらえるところがあると思えない」の発言により今後の不安を感じている点。(3)「二人の面倒を一人で看る生活もままならない」の発言から不安を感じている点。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

正社員としての就職や今後の両親の介護に焦りと不安を感じている相談者の気持ちに寄り添い「傾聴」を重ねサポート形成に努める。設問3の問題と同意を得ながら次のように進める。(1)これまでの経験を軸に振り返り興味・スキル強化、価値観を問うことで内省を促し、客観視し自己理解を促す。(2)活字やネットを紹介し、正社員や資格、業界・職種などの情報収集方法を伝え、仕事理解を促す。(3)地域や行政に相談する機会を提案し、仕事と介護の両立支援の情報収集し、今後の介護にさらえて不安を解消する。以上により相談者が自己肯定感を上げ、不安なく自身のキャリアと介護を両立できるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

|         |        |       |               |
|---------|--------|-------|---------------|
| No. C01 | G グループ | 年 月 日 | 令和5年10月29日(日) |
|---------|--------|-------|---------------|

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略 A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

相談者は短大卒業後、就職氷河期だった中もあり、就職活動に失敗して、正社員並みの給与はない行政書士事務所にアルバイトとして働きながら資格試験にも挑戦を続けてきた。最近父が倒れて、将来の不安もあり、どうにかやりたい。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

実務経験や正社員経験もない50代女性として焦りを抱えている相談者に対して、また言語化できていない相談者の思いや価値観を理解して、今後の相談者の支援方向や支援目標を明確化するための意図として応答。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 主な問題3つある。①やりたい事やスキルについて自分ではわからぬ点で自己理解不足。②正社員として働いた経験がない点から仕事理解不足。③仕事と介護の両立について自分が面倒みるという点で情報不足。
- ② その根拠 ①「他の人より劣る知識や経験もなく、やってみない仕事も特にかい」という発言。②現在に立って一層も正社員として働いたことがない。③「今は旦那と距離をとるのもいいが、今後旦那が倒れたら...もし二つの面倒を1人で看ることになるわけは、今の仕事と続けられず生活がままならない」

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは正社員になるか将来介護の問題まで考えてみるかを将来不安を抱えている相談者に寄り添う。また難しい資格試験に挑戦している相談者と向き合う。傾聴と適切な情報提供と精進をかける。その上での短大から今の求職でアルバイト経験を振り返っていた点、本人の強み、スキル、やりたい事、やりたいことを自己理解させる。介護と仕事について、多様な働き方や介護保険について勉強している点、必ずしも本人が介護しなくても仕事を続ける方法について検討してもらう。以上、相談者がやりたい仕事を定めた正社員と介護との両立も可能になるようにキャリアンとして支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。